

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	障害者福祉センター指定管理者事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	障害者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	小西 和典			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	社会参加を望む身体障害者	意図	在宅の障害者の社会参加を促進させる。
事業内容	各種講座及び機能回復訓練に参加することで、社会的に自立し、生き生きとした生活を送れる。			
事業開始から現在までの状況変化	当初は、身体障害者を中心として強い要望により機能回復訓練がスタートしたが、現在は、この他に社会適用訓練や創作講座等幅広い内容で事業を実施している。平成23年度から指定管理者が事業運営を行い、障害者の範囲を他の障害者も利用できるよう拡大した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		機能訓練延べ参加数	2,025	2,050	2,093	人	
	創作活動延べ参加数	1,007	903	958	人	↑↑↑	
	社会対応訓練延べ参加数	442	317	253	人	↑↑↑	
	養成講座延べ参加数	1,818	2,144	0	人	↑↑↑	
	その他		2,675	4,678	人	↑↑↑	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	指定管理者制度で事業の運営を行っている。事業内容として、年間計画に基づき、機能訓練（理学療法、作業療法、音楽療法、言語療法）、創作活動（手芸、カラオケ、料理）、社会適応訓練（点字、パソコン）、養成講座（点字、手話、要約筆記）等について多種多様にサービスが展開されている。とりわけ、送迎業務を行い利用者の利便を図っていること、多くの自主講座を実施し、取り組んでいる。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	15,754,100	36,068,900	36,048,950				
事業費(b)(円)	15,685,000	35,843,000	35,843,000				
うち一般財源	15,685,000	35,843,000	35,843,000				
職員給与費(c)(円)	69,100	225,900	205,950				
人役・職員(人)	0.01	0.03	0.03				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	平成28年4月から、全ての障害者（3障害）が利用できるように、設置条例の一部改正を実施する。	取組の課題	条例の一部改正により、全ての障害者が利用できるようになったことから、事業内容の検討が必要となる。
今年度(H28)に実施した取組	条例の一部改正。	今後の改善計画	利用できる対象者が増えることから、利用者のニーズに沿える事業展開を実施していく。